

令和4年度 東京都立赤羽北桜高等学校 学校経営計画

I 目指す学校

1 スクール・ミッション

「高い志と豊かな人間性」「専門分野への興味・関心の喚起とプロ意識の涵養」「体験的・実践的な教育」を教育理念とし、スペシャリストの育成を目指す専門教育の充実や探究活動の充実、地域との連携を通じて、常に学び続け社会に貢献できる「プロフェッショナル」な人材を育成します。

2 教育目標

高い志と豊かな人間性を持ち、専門分野への興味・関心の喚起とプロ意識の涵養を目指し、体験的・実践的な教育を通して、都民に信頼される教育を推進する。

- (1) 家庭、福祉分野における専門的な知識や技術とともに倫理観、広い視野を身に付けさせる。
- (2) 自ら学び、自ら考え、自ら行動できる力とたくましさを身に付けさせる。
- (3) 社会に貢献する意欲を持ち、人との関わりに喜びを感じる社会性を育成する。

3 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ① 探究活動を通して、直面する課題に向き合い、課題解決に必要な知識・技能を身に付け、他者と協働し、よりよい生活及び社会を創り上げることに貢献できる力。
- ② 社会や人と向き合い、対話と討議を通して様々な価値観を理解するとともに、生徒個々の良さを発見することにより、未来を切り拓いていこうとする力。
- ③ 自ら学び、考え、行動できる力とたくましさ。どのような困難な状況にあっても、初心を忘れず目標に向けてたゆまぬ自己研鑽できる力。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ① 養成施設として、資格取得に必要な科目及び時間数を配置。(調理科・介護福祉科)
- ② 専門高校であるが、普通教科の基礎・基本の習得を図り、選択科目に普通教科を多数配置、演習科目も配置し受験対策を図る。(保育・栄養科)
- ③ 探究的な学習を系統的に学べる科目の配置。「総合的な探究の時間」「人間と社会」「情報Ⅰ」「課題研究」「介護総合演習」「探究ゼミ」等

(3) アドミッション・ポリシー

- ① 家庭分野(保育、栄養、調理)、福祉分野に高い興味・関心を持ち、将来のスペシャリストとして学んだ知識・技能を将来の進路に活かそうとすることができる生徒
- ② 日々の授業や実験、実習等に自ら意欲的に取り組み、将来の進路実現に向け粘り強く努力を続けることができる生徒
- ③ 自分が興味・関心をもつ分野や、学校外の社会的・文化的活動に意欲的に取り組み、社会貢献することができる生徒

- ④基本的な生活習慣が身に付いており、礼節、マナーやルールをしっかり守ることができる生徒

Ⅱ 中期的目標と方策

1 目標

生徒一人一人が専門高校で学んだことを活かして、進路実現を果たすために、「目指す学校」の確立に向けて実践的な教育を推進していく。

本校には、家庭分野（特に、保育、栄養、調理）、福祉分野に高い興味・関心をもち、スペシャリストとして進路に活かすことを期待して入学してくる生徒が多数を占める。これらの生徒に対して、基礎学力の定着を重視するとともに、専門的な知識や技術の習得を徹底し、進路実現ができるよう、また専門分野への自信と責任感を醸成できるように、教職員は、生徒一人一人の学力の状況や進路希望を共有し、組織的な体制を構築し、生徒が自ら意欲的に学ぶことを支援する。

2 方策

(1) 進路指導の充実

3年間を見通した計画的なキャリア教育と系統的な進路指導により、組織的・計画的に進路指導を行い、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。

(2) 学力の向上

特色ある教育課程を活かし、基礎・基本の定着を図る指導を行うとともに、主体的に学習に取り組む態度や思考力、判断力、表現力等を育成する。

(3) 専門教育の充実

家庭及び福祉に関する将来のスペシャリストに必要な基礎的な知識や技術を身に付けさせるとともに、専門分野への自信と責任感の醸成を促す。

(4) 言語能力の向上

読書活動等を推進するとともに、探究的な活動における、発表会・論文作成等を通して表現力の育成を図り主体的に問題解決に取り組む態度を育成する。

(5) 規範意識の向上

生命の尊重や規律ある生活指導を通して、学校を創り上げていくという意識のもと、学習活動、学校行事、部活動、生徒会活動等に主体的に取り組ませ、協調性やリーダーシップを身に付けさせる。

(6) 健全な心と身体の育成

安心・安全な学習環境と生徒の心とからだの健康づくりを推進する。また、衛生管理の徹底を推進する。さらに、教育相談体制の充実を図るとともに、食育やスポーツ栄養等に触れさせ健全な身体を育成する。

(7) 地域連携の推進

教育活動の取組みを保護者、都民に積極的に広報する。また、公開講座や施設開放、地域行事への参加を促進する。

(8) 組織体制の構築

組織的な学校経営と経営企画室の学校経営参画を促進し、全教職員の協働体制の構築を図る。また、企画調整会議を軸とした学校経営を構築していく。さらに、働き方改革の推進に向けたライフ・ワーク・バランスの確立を図る。

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

教職員一丸となり、希望をもって入学してきた一、二期生の夢を実現できるよう育成を図るとともに、十年先の社会の期待にも応えられる専門高校であるための礎を築く。

1 教育活動の目標と方策

目標 1 多様性を尊重し、専門的な知識や技術の習得に邁進する生徒の育成

目標 2 地域から期待され、中学生、その保護者、教育関係者等から「選ばれる赤羽北桜高等学校」

目標 3 「赤羽北桜に来てよかった」、保護者から「赤羽北桜に入学させてよかった」と言ってもらえる教育実践。そして、社会に貢献できる人材の育成

(1) 教育課程・学習指導

①授業の充実

ア 基礎・基本の定着、家庭及び福祉に関する将来のスペシャリストに必要な知識や技術を身に付ける（思考力・判断力・表現力の育成）。

イ 希望する進路を実現するために、学力の育成及び学習習慣の定着を図る。

ウ 資格取得や各種コンクールへの参加を促進する。

②授業時間の確保・特別活動・道徳

ア 授業時数の確保、年間指導計画に基づいた特別活動を行う。

イ 体験的・実践的な活動を計画的に実施する。

(2) 進路指導

①生徒一人一人の進路実現に向けた支援体制の強化

ア キャリア教育の全体計画に基づく系統的な指導を推進する。

イ 担任等による個人面談・三者面談を計画的に実施する。

ウ キャリアノートを活用した進路指導の充実を図る。

②進学に向けた補習・講習と進路行事の充実

ア 放課後・長期休業中の講習を行う。

イ 高大連携事業を計画的に推進する。

ウ 大学生・民間OB等の活用による学習支援を行う。

エ 個別指導による繰り返し指導を行う。

オ 自習室等を活用した自学自習を推進する。

(3) 生活指導

①基本的な生活習慣の確立を図る。

ア 挨拶、身だしなみ指導、時間を守る態度の育成等を通して、社会生活の基礎と互いを尊重する心を養う。

イ 交通ルールの遵守と自転車通学のマナーの向上を図る。

②生命を尊重した指導を徹底する。

ア 生命尊重や交通安全指導等に関する外部指導者を講師として招聘し、講演会等を積極的に開催する。

イ 担任・教科担当・教育相談担当等、生徒と係わる全ての教職員が、きめ細かな生徒観察を行い、心の変化等を見逃さず、生命尊重の教育を推進する。

(4) 心身の健康づくり

①体力の促進

ア 「体力テスト」の結果分析を踏まえ、生徒の体力向上を図る。

イ 継続的な体力向上に向けての取組を遂行する。

ウ 食と運動、体力に関する講演を行い、相互の関連性を理解させ、各自の生活習慣の改善を図る。

②交通事故の未然防止

ア 交通安全に対する知識や実践力を身に付けさせ、交通事故等を未然に防ごうとする力を育成する。

(5) 専門高校の特色ある教育活動

①スペシャリストの育成

ア 資格取得の推進を行うとともに地域社会や生活産業、福祉産業に貢献する人材の育成を図る。

イ 大学や地域と連携し、高度な授業の実現を図る。

(6) 地域との交流・広報活動

①応募者数の確保と入学後の定着率、卒業後の離職率への対策

ア 教育活動について積極的かつわかりやすい情報発信を行う。

イ 中学生や保護者の視点での学校説明会、体験入学等を実施し、入学のミスマッチが起こらないよう、本校の教育への理解を促す。

ウ 中学校の教員、塾対象に専門高校の特色について発信する。

②探究活動・地域連携の充実

ア 地域の企業や自治体、他校種との連携を行う。

イ 地域行事への参加及び「町おこし」に向けて、大学生とともにフィールドワークを実施する。

ウ 多目的ルーム活用の充実を図り、地域と連携したイベントを推進する。

(7) 学校経営・組織体制・経営企画室

①教職員が誇りをもって業務を推進できる学校を確立する。

ア 目指す学校像を再共有し、自信をもって業務を推進できる土壌を構築する。

イ 全ての教職員が教育の「スペシャリスト」として当事者意識をもつとともに、相互に敬意をもって協働し、完成年度に向け学校を作り上げていく。

②企画調整会議を軸とした学校経営

ア P D C A サイクルに基づいた学校経営を行い、共通理解を図りながら校内の諸課題を円滑に解決する。

イ 人材育成のため、日常業務を活用した O J T を組織的・継続的に実施し、組織を活性化する。

ウ 分掌・学年・経営企画室の情報共有・経営参画による連携を行う。

③安全管理の推進を図る。

ア 施設・設備の点検と維持管理を強化し安全管理と事故防止に努める。

イ 個人情報管理の組織的体制を構築し校内研修を計画的に実施する。

ウ 新設・既設併存の全体把握による適切な施設管理及び維持管理を行う。

④経営企画室の機能を強化する。

ア 経営企画室と教員組織の円滑な連携を図り、施設管理や予算執行管理を適正に行う。また、教育活動の専門性、学校完成年度に向けた段階的編成等を踏まえた予算<自律・管理>の計画的・効率的執行を重視した予算執行管理を行う。

イ 経営企画室と一体化した学校経営を目指し、経営企画室のさらなる経営参画を促進する。

ウ 確実な情報管理及び適正な契約業務、学校徴収金の適正な執行を行う。

エ 教育活動の専門性を踏まえた適正な諸手続の整備・執行を重視し、学事・私費会計・私費契約等の適正管理を行う。

オ 教員との緊密な連携による効果的かつ正確な事務を遂行し、募集対策・入学者選抜の運営及び支援を行う。

⑤効率的な職務遂行、業務の平準化を目指し、在校時間・超過勤務管理を行う。

⑥新型コロナウイルス感染症の対応と教職員の健康管理の徹底を図る。

⑦事故防止・安全管理・コンプライアンス意識の徹底を図る。

ア 点検・環境整備・研修等を通して個人情報・情報セキュリティの適正管理を行う。

イ 点検・修繕等を適時行い、施設・設備の安全管理・維持管理を図る。

ウ 汚職等非行防止・法令等遵守等の研修を随時行い、コンプライアンス意識の徹底を図る。

エ 事故等発生時の組織的連携を徹底する。

⑧生徒・保護者・その他都民に対する親切かつ丁寧な接遇を行う。

IV 数値等具体的な目標

1 授業改善

(1) 研究授業等への参加 (一人1回)、相互の授業参観 (一人3回)

(2) 生徒による授業評価 (年1回以上実施)

(3) 手帳の活用 (年3回以上の確認)

(4) 各種資格・検定合格者 (生徒一人一つ以上)

(5) 各種コンクール入賞 (10件以上)

(6) オンライン研修・校外研修 (半数教員)

2 募集対策

(1) 学校HPの更新 (100回以上)

(2) 授業公開・体験授業の工夫

(3) 学校説明会等の工夫

(4) 学習内容、学習成果の校内外への発信による専門高校魅力発信 (2回)

3 探究活動・地域連携

(1) 協定締結校との打合せ (月1回)

(2) 高大連携事業 (6回以上)

(3) 自治会との連携事業 (6回以上)

(4) 地域活性化のための提案プログラム (10件以上)

(5) 成果発表 (全員)

(6) 学校評価アンケート (連携先)